市民のひろば

カット　北岡長広（物部）

親子クイズ ㉜

ご家庭で話しあって答えてください。答えは今月号の広報にでています。

■もんだい

①49年度の行政のあり方を示す市の予算は、一般会計○○億5436万円。特別会計をあわせた予算総額は47億2,218万円です。

■しめきり・5月15日（水）

■おくり先・〒783　南国市大埔南国市役所内広報委員会、親子クイズ係。

■答えのはがきには必ずお歳、職業を書いてください。

広報や行政に対するご意見、マンガ、詩などもどうぞ。

■しょうひん・特賞 2,000円＝1人、残念賞（記念品）＝10人

特賞に森田房子さん（大埔）

第31回の正解者発表

■こたえ・㊟㊤㊥㊦でした。

■特賞・2,000円、森田房子（大埔）

■残念賞・森国安雄（浜改田）山本智子（大埔）杉村弘行（物部）岩村由里子（大埔）森田鹿（後免中町）元吉美香（田村）今西多恵（大埔）恒石明彦（金地）藤岡香代（大埔）戸田正光（領石）

これからの社会と青年の役割り

武市忠雄（篠原）

私は一人の農業経営者ですが、これからの社会を考えるとき不安と不満を覚えてなりません。

ご承知のように昨年末の石油不足による物不足。そして、相次ぐ値上げとインフレ。ところが生産費が何もかも二倍、三倍に値上がりしますと、今の農業経営の形態では、とうてい成り立っていかないのです。

なぜなら、私たちの農業生産物は、生産者から消費者へ販売するときの価格を、自分たちで決定できないからです。つまり、多く出来れば安くなり、少なければ高くなる、自由経済の特徴をいかんなく現わしているわけです。

別に、この自由経済が悪いというのではないのですが、生産費が二倍、三倍になったので、生産物価格も同じように値上りするかといえば、決してそんな事はないのです。どんなに安く価格を決定されても、作った以上その値でなければ売れないのです。

それなら、なぜ自分たちで価格決定できるように持っていかないのか。少し前までは、それを農協やその他農業団体の幹部の人々に望んでいました。つまり、全国的な組織力を持ち、全国津々浦々へ行ってもある農協と、その販売力、それを生かしてもらいたいと思っていました。

そして、農民を団結させて生産費、土地利子、資本利子、労賃、企業としての利潤、それらを考えての価格で販売できるようにしてもらいたいと思っていました。

そうすれば食糧である私たちの生産物は少し高くても売れないはずはないし、今の農業経営者の低い生活程度が向上するのにと思いました。しかし、それが今では組合の指導的立場の人に、それを望むでもできないだろうと思うようになりました。

なぜなら、日本の昔をふり返ってください。江戸から明治に変るときの土佐、長州、薩摩の青年の活躍、また十年前の中国における紅衛兵を中心とした青年による文化大革命、そして今の韓国、タイにしろ政治を動かそうとしているのは青年なのです。そういった事から、今の日本の農業、いや農業を通しての社会を正しくするのは私たち青年をおいて他にないと思うのです。

もちろん、そういってすぐできるわけはなし、何の知識、考えもなしにできるわけがないのです。

そこで、今の農業青年を始めとして、すべての青年にいえる事は勉強をしなければならないという事です。

これからの世界の政治が、如何に変っていくのか、また変えなければならないのか。石油を始めとして世界の資源の見通し、世界の人口と食糧の変化など、すべての事項を頭に入れてよく考え、その上で若い者が団結し、時期をみて日本を、また世界を変えていかなければならないと思います。

たかが一人の百姓の意見ですが、どの国の、いつの時代でも、国を発展させたのは社会的地位の低い青年であったという事を考えてみますと、まんざらまちがいをいったようにも思えません。どうか皆さん考えてみてください。

原稿募集

▼市民の声＝行政に対する建設的な意見八百字以内▼つくし＝女性のほのぼのとした随想六百字以内▼しめきり＝毎月十日と二十五日

つくし

小道は物部川の堤に続いて春はいろんな花が咲きみだれ水車はひねもすこっとんこっとん廻っていました。小屋の古びた戸に悪童どもの落書があとをたたず恰好な遊び場でもありました。私は水車小屋をテーマに詩や歌をたびたびつくり自分の発想にひとり酔っていた乙女の頃は水車小屋から望む三宝山の美しい景色がたまらなく好きだったのです。

今どちらを向いても道はこちらに固められ、花の根は地に埋れたまま春を知らずにひっそりしています。水しぶきをあげて歌っていた水車は小屋もろとも、とおの昔にとり壊され三宝山も昔日の姿はなく、世の移り変りをしみじみ感じます。

水車小屋

お医者様ごっこでお医者様だった男の子は若くして逝き、女の子のようにおとなしくて同級生だった友も戦死をしたと聞きました。私を妹のように可愛がってくれたひと。花嫁姿が輝くばかりでしたがもう何人ものお孫さんに囲まれて良いお婆ちゃんになっているとか。悲しいまでになつかしい思い出をいっぱい残したふるさと。あの水車小屋。なにもかも遠い夢となりました。

白く幅広く伸びた道をひかひか光りつつ走る車の列。現代の若い人びとは美しくて知性に富み、本当に素晴らしいと思います。ふたたびめぐり来ることのない青春。老女は水車小屋に限りない郷愁をおぼえつつ、つたないペンを置きましょう。

岡崎冬身子（笠ノ川）

あなたの便り

■南国市内の自然の緑を守り育て、また家庭にも緑の場を市民ぐるみで一つの運動にしょう。

田中準一（稲生）

■広報委員会のみなさん、これからも私達市民のためになる良い記事や写真を載せてください。一日と十五日の日を毎日楽しみに待っています。頑張ってください。

岡田由（里改田）

▼いまの広報の内容に対する意見やのせてほしい記事など、お気づきのことがありましたらお知らせください。

■この広報が配達されるのがいつも遅く、今回も十四日でクイズの〆切に間に合うかどうか。もう少し月初めに配達されないものでしょうか。それと紙をとめてないのでバラバラとしており、読みにくいので以前の様に真中をとめておいてください。

山本房子（篠原）

▼連絡員さんにはご苦労かけていますが、できるだけ早く配付していただくようにお願いしています。真中をとめることは経費も大変高くなります。とじる穴をあけてありますので、とじて保存していただければ幸いと思います。

■（クイズの）賞品をふやしたらよいと思う。たとえば、特賞、残念賞などをやめ。記念品をもっと多数の人にしたらよいと思う。

門田昌明（植田）

▼そうですね。物価狂乱のなかで特賞二千円では好きなものも買えないですね。でも十分の記念品もさしあげられませんので、せめて特賞にあたるようお便りください。

■年より、子供も参加できる「歩こう会」のようなものの計画はありませんか。定期的にあればよいと思いますが。

大崎雅子（大埔）

▼体力づくりの一つとして親子のオリエンテーリングで山をかけめぐったり、地引き網などの催しもしています。ぜひそのときにご参加ください。市民のサークル活動や市民運動などで楽しい催しを考えたいですね。そして市民みんなが歩きながらあしたの南国市を考えたいものですね。

■広報で私の声を聞いてくれてありがとう。住所と氏名を書いてなかったとか……。どうもお手数をおかけしました。もうこのようなことはないと思いますので――。

私はまだ学生でなまいきなことはあまりいえないけれど、私は今の広報に感謝しています。というのは私の小さな考えや意見が南国市の中心（？）にちゃんととどいているんだというのが実感として感じられるのがうれしいんです。今の調子でがんばってください。

岡上美智（篠原）

詩

明日、町へ出かけよう
赤いお花かざして
映画見て、ゲームして
一日中遊び回ろう
ゆめのお国へと
目がくれるのも忘れ
気がつけば、そこは
きたこともない淋しい町だった
一けんのお店には
わかもの二人
笑顔うかんでる
明日、町へ出かけよう
まっ白いおに合いのセーター
スケートして後はショッピング
一日中遊び回ろう
ゆめのお国へと
目はくれて気がつけば
そこはさびしい町
一けんのお店にはだれもいないよ
古いかけ時計ひとつ

中岡哲也（十三歳・稲吉）

朝ふと自分の影をみた
だんだん長さがちぢんでゆく
目なたのにおいがすごく
なつかしいもののように思える
「ふわっ」とした風が
私の耳の横を通りすぎると
春の声が
「おはよう」と目をさます

森田房子（十三歳・大埔）